

じんじん

(題字・あべ弘士)

秦野編

応援団 NEWS

2016. 7. 13 発行

メインロケ開始 空梅雨3号

発行／応援団事務局・一般社団法人 秦野市観光協会 ☎ 0463-82-8833

撮影決調！水無川で、丹沢の森で…！！

6月27日からスタートした撮影も、空梅雨のおかげで決調に進んでいます。

市内中心部の住宅街に、静かに佇む緑のオアシス「くずは峡谷」は、市民の憩いの場所。前日、1200年以上の歴史があると伝えられる大日堂境内の撮影を無事に終え、この日は企画主演の大地康雄さんの初日。

緊張感の中で、スタッフは早朝から準備を整えていたが、小雨模様で急遽翌日の撮影と入れ替え、表丹沢に源を発する四十八瀬川の上流にある黒竜の滝に変更。手際良く機材、スタッフなどがすべて移動させ、県民の森近くへ。

ベースとなる場所からは、スタッフ全員で機材を背負子などで徒歩運搬。

雨で濡れた山道を歩くこと約15分、落差15mの夏でも潤れることのない冷気漂う名勝「黒竜の滝」に到着。大日堂に続くシーンの撮影に挑んだ。

見成後は、本編の冒頭に登場するので、どんな大地さんの(銀三郎の)演技になったか…お楽しみに！



連日30度超えの猛暑とヤマビルと格闘！

7月に入り、梅雨は完全にどこかへ…。連日、30度を超す猛暑と闘っていますが、もうひとつの敵とも格闘中です。それはヤマビル！！

ミミズやゴカイと同じ環形動物門に属し、ヒル綱顎蛭目ヤマビル科に分類され、日本国内で陸棲の吸血性ヒルとしては唯一の種です。丹沢の山裾までシカなどの動物の行動範囲の広がりと共に、棲息域を広げており、登山客やハイカーに被害が出ています。『じんじん』撮影スタッフも、例外なく何人かが、吸血被害に遭いました。

県道70号線沿いの森林がロケ現場ですが、6月に実施したロケハンの時から、スタッフのMさんやYさんが、さらに何人かが血を吸われました。

雨がほとんど降らないので、この程度で収まっていますが、それでも油断は禁物。照明部のスタッフやメイキングスタッフがスタッフルームで長カッツを脱いだら、ポロリ！！と。あわてて塩をかけ完全に息の根を止めました。

しかし、森林組合の職員の方のアドバイスで、ストッキングを履き、ヒルバスターで完全防備していたため、伊勢徳部の皆様には被害は出ておりません。

